



百三十四

初冬の先入口也 梅や如き  
梅も月清くけけきくけけけけけ  
まねくもや日輝もみらるる  
まよふもけけけけけけけ 梅林  
まら〜と新けられまよ 梅の如  
十もや〜とああり梅の如  
照のひかり 柳もまよもまよ  
よまな〜とまよまよ 梅やまよ  
月まよの影ほまよまよ 柳

乙酉一月



年志 梅一 素雲 未去 波古 廿仙 可久 杜堂 遠亭

